

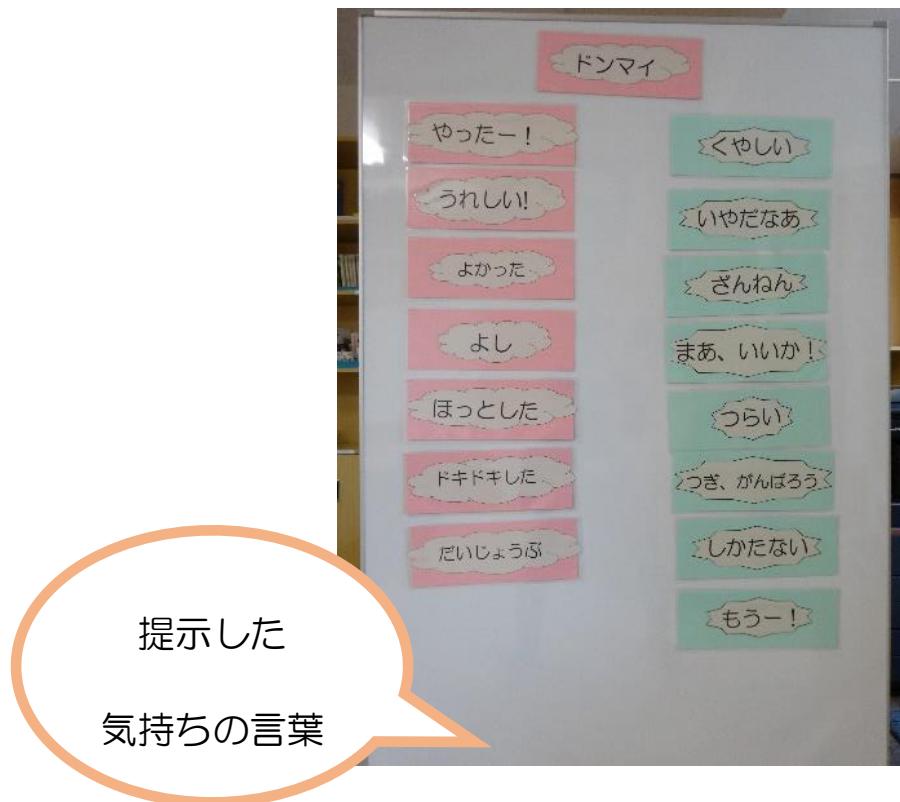
「くやしい…うれしい！坊主めくり」



小集団指導で行った活動について紹介します。

百人一首の読み札を使った坊主めくりをしました。自分の番に山札を1枚めくり、「殿」が出たらそのまま自分の札へ、「坊主」が出たら自分の札は没収されて共通の場へ、「姫」が出たら共通の場の札は全て自分の札へというルールで、持ち札の枚数を比べて順位をつけるゲームです。

坊主が出ても、ネガティブな気持ちをため込まず、気持ちを切り替えてゲームを続けることをねらいとして行いました。気持ちを切り替える手立てとして、カードを引いた後に、どんな気持ちかを適切な言葉で伝えるように指導をしました。そのために気持ちの言葉を提示しました。



「ドキドキしたー」、「くやしい。」、「やったー！」、「まあ、いいか。」とカードを引いた後に、気持ちを言葉にしました。また、坊主が出てしまったときには、その人に「ドンマイ」と言うようにしました。すぐに気持ちを言えない児童は、提示された気持ちの言葉を見て、自分の気持ちと合うものを選んでいました。坊主が出たときには嫌な気持ちになりますが、言葉で気持ちを表現することでネガティブな気持ちをため込まなかったり、周りの人から「ドンマイ」と言われて気持ちを切り替えたりして、どの児童も最後までゲームを続けられることができました。